

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年12月23日（金）

### 2 確認箇所

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
大熊分析・研究センター第1棟

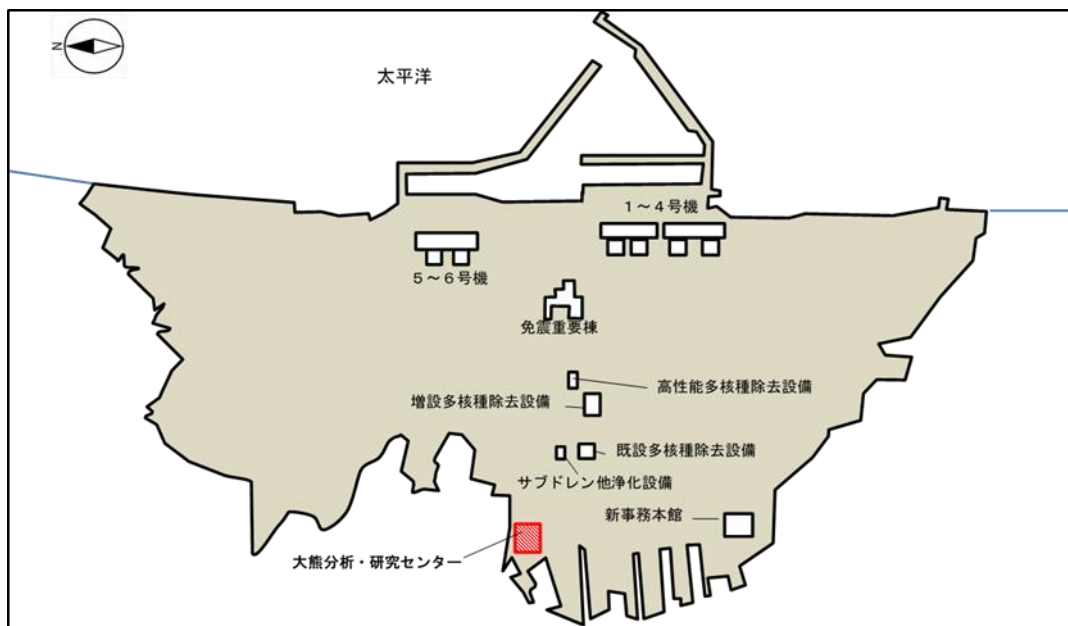
### 3 確認項目

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大熊分析・研究センター第1棟の状況

### 4 確認結果の概要

今年6月、福島第一原子力発電所敷地内に、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構により、大熊分析・研究センター第1棟（以下「第1棟」という。）が設置された。第1棟は、福島第一原子力発電所で発生する瓦礫類及び水処理二次廃棄物等の固体廃棄物の性状を把握することにより、これら进行处理・処分するための方策の検討などの研究開発に資するための分析を行う。今回は、この、第1棟の状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和3年2月12日](#)（工事進捗状況の確認））

- ・第1棟の1階の東側には、分析対象物を搬入するための入口が設けられていた。（写真1）
- ・分析対象物の前処理（サンプル作製・分別）を実施するパネルハウス室は、搬入エアロック室及び鉄セル室と繋がっており、それぞれの接続箇所には、シャッターが設けられていた。（写真2）
- ・鉄セル室には、作業員の被ばくを避けるための遮へい機能を持つ遠隔操作設備のマニプレータが8本（4室）設置されていた。（写真3）
- ・グローブボックス室には、放射性物質を閉じ込めながら試料の前処理（粉碎・切断等）を実施するグローブボックスが設置されていた。（写真4）
- ・測定室には、固体廃棄物やALPS処理水の放射性物質等の分析に使用する設備が設置されていた。（写真5）
- ・第1棟では、今年度中には実試料を用いた分析作業に着手する予定とのことであった。



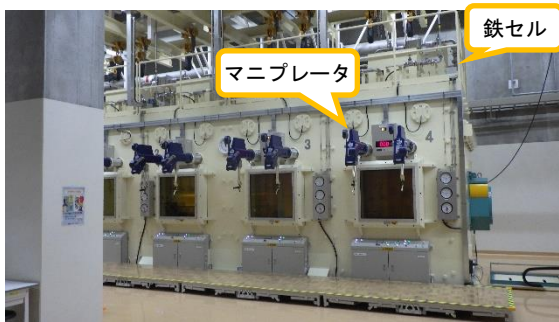
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
搬入口の状況



(写真2)  
パネルハウス室内の状況



(写真 3 - 1)  
鉄セル室内の状況



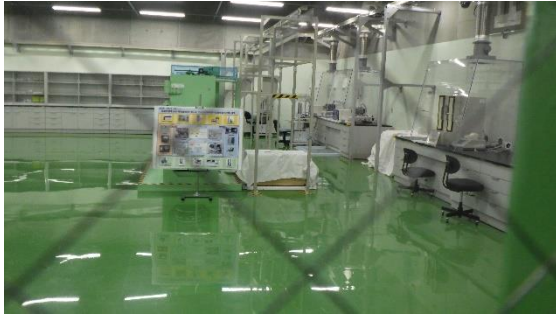
(写真 3 - 2)  
写真 3 - 1 の接写



(写真 4 - 1)  
グローブボックス室内の状況



(写真 4 - 2)  
グローブボックス内の設備の例



(写真5)  
ALPS処理水分析設備の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。